

2020年9月

8月も終わろうとしています、まだまだ暑い日が続いていますね。今年は新型コロナウイルスの影響でマスクを着けなければならない、コロナだけでなく熱中症にもご注意くださいと感じています。

さて、今回ご紹介したい本は『和風総本家 七代目 豆助 オフィシャル フォトブック』テレビ大阪監修 森下泰樹撮影 新紀元者社編 新紀元社 2011です。この本は、2008年4月から2020年3月まで放送されたテレビ大阪製作番組「和風総本家」のマスコット犬（柴犬）の写真集です。「和風総本家」は、和に関する物事を取り上げ、日本の良さを伝える番組です。実は、このマスコット犬である豆助は、ほとんどが小さい間だけの出演であるため半年くらいで交代し、二十三代目まで続きました。茶色の柴犬だけでなく、黒柴やめずらしい白柴も登場しました。ちなみに、今年の3月で番組は終了したのですが、なんと今年の7月から約5分も満たないミニ番組で復活し、二十四代目の豆助が登場することになりました。「豆助のニッポンっていいな。」という番組です。放送終了後には、YouTubeで「豆助のニッポンっていいな。」の完全版（YouTubeの方がテレビ番組より少し長い）が見られるようになります。日本の美しい物とそれを作る職人さんの魅力を世界でも見ることができます。英語で有田焼など日本の技術を解説（字幕あり）しているので、日本の伝統文化を学びながら英語も学ぶことができます。

この本に登場する七代目の豆助は、丸い顔立ち（どちらかというとなめき顔）で少しぽっちゃりというかコロんとした体型、なんとも愛らしい姿で人気になりました。この七代目の絶大な人気により本や文具など豆助の商品も販売されるようになりました。八代目以降も本やDVDなど商品が販売されました。ちなみに現在は、番組が一旦終了したため、文具などの商品を購入するのは難しいかと思われます。本は本屋さん在庫があれば購入できるかもしれませんが、豆助のトレードマークは、初代からずっと、どの子も緑色の唐草模様の風呂敷を首に巻いています。もちろん七代目豆助も首に巻いていて、かわいい姿が写真集で見られます。桶からチョンっと顔を出している姿・寝ている姿・机の上に置いてあるどら焼きを見つめている姿・あくびをしている姿・てくてく歩く姿・七輪で焼いている魚を見つめている姿・お座りしている姿・後ろ姿・手の肉球アップなど見ていると癒されます。巻末には、初代から六代目豆助の写真も載っています。見ていると、特徴がそれぞれ違ってかわいいです。耳が立っている子・耳が垂れている子、しっぽがクルンっとなっている子・しっぽがまっすぐな子、丸顔の子・面長の子、そして毛並みも違います。日本だけでなく海外でも柴犬が人気であることに納得してしまいます。柴犬好きにはたまらない本です。そして、柴犬好きでない人もこの本を見れば、柴犬のよさがきっとわかると思います。実際、私がそうでした。柴犬好きになったのは、この豆助がきっかけです。あどけない姿・凛とした姿いろんな姿が見られます。新型コロナウイルスやこの暑さで疲れた身体をぜひこの本でも癒してくださると幸いです。そして今一度、日本の良さを感じてくださるとうれしいです。暑い日がまだ続きそうですので、どうか皆さまご自愛くださいませ。